



越谷レイクタウン駅への
バス路線の延伸について

草加新政 鈴木由和 議員

問 コミュニティバス（北東ルート）のルート、費用、時間、需要等の課題を把握するため、現在の柿木公民館までとしているルートを試験的に越谷レイクタウン駅まで延伸してみてもどうか？市の考えは？

答 議員さんの御提案を含め、北東部バス路線の越谷レイクタウン駅への乗り入れについて、

周辺環境の変化を見据えながら関係機関と様々に検討するとともに、計画期間が令和5年度末までとなっている草加市公共交通再編計画の次期計画となる草加市地域公共交通計画において、本市の実情に合った広域交通計画となるよう、草加市地域公共交通会議において検討を進める。



食品ロス対策として、
フードドライブの実施を！

立憲民主党 菊地慶太 議員

問 草加市では、令和2年度に食品ロスの現状を把握するために可燃ごみの調査を行った結果、可燃ごみのうち約4分の1が食品廃棄物で、このうち33%は食べられるものであり、家庭から多くの食品ロスが発生していることが分かった。食品ロス削減の取組として、各家庭で使い切れない未使用食品

を持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや地域の福祉施設、団体などに寄贈する活動であるフードドライブを草加市でも実施すべきではないか？
答 回収する食品の品目や条件、回収方法などについて、近隣自治体の取組などを参考に調査の上、実施に向けた検討を進めていく。



市立病院の医療体制と
病床確保について

草加自民 松井優美子 議員

問 新型コロナウイルス感染症発生当初から現在までの医療体制と病床確保は。

答 医療体制は全身麻酔の手術件数が令和元年度1,661例、令和2年度1,674例、令和3年度1,772例と増加、他の医療機関が手術や感染リスクの高い医療処置を制限する中、がんや脳卒中、心筋梗塞などの重症患者の受け

入れ態勢の維持に努めた。病床確保は重点医療機関として1病棟を新型コロナウイルス専用病棟に転用し、透析患者や小児患者の受け入れも含め、常に16床から25床の病床を確保してきた。また、ハイリスク患者等へのワクチン接種、集団接種会場、医師会PCRセンターへの人材派遣なども並行して対応した。



インクルーシブ公園の必要性
について市の考えは？

公明党 石川祐一 議員

問 障がいのある子もいない子も一緒に遊ぶことのできるインクルーシブ公園の整備の必要性について市の考えは？

答 障がいの有無にかかわらず、楽しく遊べるインクルーシブ施設は必要であると考えている。そうか公園の遊具の更新などに合わせて設置の検討を行っていく。

問 インクルーシブ公園の整備の必要性和遊具の設置に関して浅井市長の考えを伺いたい。
答 公園を整備していくことは、個人の楽しみのみならず、インクルーシブ教育につながる大変重要な考え方と認識している。今後は、そうか公園への設置検討のほか、公園の選定に向けて積極的に検討していく。



民生委員・児童委員の負担軽減
に向けた対応は。

草加自民 田中宣光 議員

問 負担軽減に向けた対応は。

答 負担を軽減し、活動しやすく継続できる環境づくりを進める必要がある。草加市民生委員・児童委員協議会と調整の上、負担軽減に向けた対応を検討していく。

問 災害時の役割は。

答 可能な範囲で避難行動要支援者の所在確認、避難誘導や消

防、警察、自衛隊等へ救助者の情報の伝達をお願いしている。

問 災害時は多くの役割を担うよりも、作業を単純化して効率化したほうが効果的ではないかと考える。役割を一本化するなどの見直し等を図る必要があるのではないかと。

答 負担軽減につながるよう整理していく。



少子化が進行している。今以上の対策が必要ではないか。

草加自民 白石孝雄 議員

問 子育て世代を呼び込むためには、環境整備が必要である。そうか公園通りは歩道整備されていない所があるが対策は。

答 関係者の協力を得ながら安全対策に取り組む。

問 子育て世代へ空き家利用などの住宅支援はあるのか。

答 関係部局と連携して子育て世代を引きつけるまちづくりを

進める。

問 保育園などを駅近くに新設しては。

答 総合的観点からの検討を進める。

問 少子化が進行しているが、今まで以上の対策を講じる必要があるのではないかと。

答 関係部局との連携を充実させ、丁寧に取り組んでいく。



谷塚駅周辺の
まちづくりについて

草加新政 切敷光雄 議員

問 谷塚駅西口は、整備に向けて、権利者の方々と協議を重ねてきていると聞いているが、草加市の南の玄関である谷塚駅西口駅前整備の今後のスケジュールは。

答 優先度の高い駅前周辺エリアから段階的な整備に向け、谷塚西口交通広場に必要機能や都市計画道路谷塚西口停車場線

の整備の方向性などを整理し、権利者協議会との意見交換などを実施し、3年程度をめどに、基本構想を取りまとめていく。



谷塚西口交通広場予定地の一部



草加市版犯罪被害者等支援条例
の制定を！

そうか市民 佐藤利器 議員

問 令和3年の草加市の犯罪発生状況は？

答 埼玉県警察の発表によると、令和3年の草加市内の刑法犯認知件数は1,690件、そのうち主な重要犯罪は強盗が3件、強制性交が5件、強制わいせつが24件となっている。

問 犯罪被害者等支援条例について草加市の考え方は？

答 犯罪被害相談及び支援体制を充実していく必要があると認識している。先進自治体の事例を参考に調査研究を行い、課題の整理を進めながら、条例制定に向けた検討をしていく。

